

報道関係各位

2010年4月15日



日本の伝統工芸 “ 輪島塗 ” の技術で “ トミカ ” を再現

「トミカ」誕生40周年記念 「漆塗り トミカ」 制作のご案内

4月23日～GW トミカ博大阪にて一般初公開、順次全国巡回予定

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー（東京都葛飾区／代表取締役社長：富山幹太郎）は、ダイキャスト製ミニカー「トミカ」(※1)が、今年で40周年を迎えることを記念して、「漆塗り トミカ」を制作し、2010年4月23日（金）から大阪で開催される「トミカ博」(※2)にて一般初公開いたします。

「漆塗り トミカ」は、日本の伝統である漆工芸に着目し、“輪島塗”で有名な、石川県の輪島市役所ご協力のもと、漆器づくりに携わる各工房が集まった交流施設「輪島工房長屋」(※3)とのコラボレーションによって制作しました。昔から多くの人々に愛され続ける日本の伝統工芸“輪島塗”と、「国産車ミニカー」として誕生し40年間走り続けてきた“トミカ”の、日本発の伝統ブランドの新しい魅力を伝えていきたいという相互の思いが重なり、誕生した作品です。

今回のモデルとなっているのは、40年前の1970年に国産車をモデルにして発売された最初のトミカ6車種の中から人気のあった車種「日産 フェアレディZ（Z432）」と、現在発売している「日産 フェアレディZ（Z34）」です。それぞれ黒漆と赤漆の2種類 計4点を制作しました。

「漆塗り トミカ」では、通常のトミカの車体の塗装に漆塗りを採用しました。本来、漆を金属に塗るのは非常に難しい為、定着させるための下地を作り、その上から上質の天然漆を塗りました。表面には、筆と漆で線を描き、金粉を蒔き付けて仕上げる蒔絵技術によって、細部にまで繊細な模様が描かれています。ボンネットやドア部分などには、薄い金の板や貝をあしらって華やかさを増し、全体の磨き仕上げを何回となく行い、艶やかな漆黒と金のコントラストによる奥ゆかしく優美な輝きをもたらしています。制作は、輪島の熟練した蒔絵職人の手によって、約3ヶ月の期間をかけました。もちろん、「トミカ」の特徴でもある“ドアの開閉”や“タイヤの可動”は、通常のトミカと同様です。「漆塗りトミカ」は非売品ですが、参考価格は8万円です（2010年3月現在）。

「トミカ」は今後も、遊びやすさや安全性など後世に継承し守り続けながら、時代に合わせた進化を続け、日本生まれのミニカーブランドとして、日本だけでなく、欧米、アジアなど世界中の人々に夢と感動体験を提供し続けられるように、さらなる進化を続けていきます。

なお、この「漆塗り トミカ」は、誕生40周年を迎えるトミカがこれまでの歴史や作品を展示して全国を巡回する予定の「トミカ博」にて一般公開します。初公開は、4月23日から開催される「トミカ博大阪」です。

## < 概要 >

- 名 称 : 「漆塗りトミカ」(非売品)
- 種 類 : 日産 フェアレディZ (Z34) 朱色/黒色 2色  
日産 フェアレディZ (Z432) 朱色/黒色 2色
- サ イ ズ : 日産 フェアレディZ (Z34) (W)約74 × (H)約23 × (D)約33 mm  
日産 フェアレディZ (Z432) (W)約69 × (H)約20 × (D)約27 mm
- 重 量 : 日産 フェアレディZ (Z34) 約44g  
日産 フェアレディZ (Z432) 約40g
- 素 材 : 亜鉛合金(車体、「日産 フェアレディZ (Z432)」のシャーシ)  
ABS樹脂(シート、タイヤ、「日産 フェアレディZ (Z34)」のシャーシ)  
ポリスチレン(窓ガラス)
- 参考価格 : 8万円(2010年3月現在)
- 展示予定 : 2010年4月23日(金)~5月5日(水) トミカ博大阪(開催場所:ATCホール)  
※4月26日(月)~28日(水)は休館  
その後、全国を巡回するトミカ博会場にて展示予定
- ホームページ : <http://www.takaratomy.co.jp/products/tomica/>

※大阪会場での展示は、

「日産 フェアレディZ (Z34)」(黒色)と「日産 フェアレディZ (Z432)」(朱色)を予定



「漆塗りトミカ」

(写真は、「日産 フェアレディZ (Z34)」2種です)

<報道各位から本件に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー 広報部 TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

<読者から商品に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL 03-5650-1031 <http://www.takaratomy.co.jp>

(※1) トミカとは

「トミカ」は、外国製のミニカーが全盛で国産車ミニカーを求めるお客様の声が高まっていた当時、「日本の子どもたちに、もっと身近な国産車のミニカーで遊んでもらいたい」という熱い想いのもと、1970年に国産車ダイキャスト製ミニカーとして発売しました。現在までに**累計800種以上**の車種が発売され、累計販売台数は**5億3800万台**を超え、3世代にわたり愛されるブランドに成長しています。最近では、ミニカーの枠を超えて、「トミカ」ブランドとしてアパレル、文具雑貨などおよそ1,000アイテムを発売しています。

なお、40周年のテーマは、“**でっかい子どもに、育てよう。**”です。「トミカは、遊びを通して豊かな想像力を引き出し未来の社会を創造する“でっかい子ども”を育みたい」という想いを込めています。



「トミカ」



「トミカ」と「トミカ（ロングタイプ）」



「トミカ」40周年キービジュアル

(※2)「トミカ博」とは？



トミカ博は、東京、大阪など主要都市で年4～5回開催され、毎回5～10万人を動員するトミカファンのための大イベントです。歴代トミカの展示や、新商品のお披露目、楽しいアトラクション、イベント記念モデルなどの販売など、全国のトミカファンが「トミカと出会える場所」として子どもたちに人気を博しています。今年のテーマは、「40年ぶんの、トミカ博」で、「トミカ」誕生40周年を記念した展示コーナーやトミカの街を再現した等身大の「トミカタウン」など、親子で楽しむことができる内容となっています。

(「漆塗りトミカ」の展示は、トミカ博会場が同時期に重なる場合、4点を分けて展示いたします)

<トミカ博inOSAKA事務局>

TEL : 06-6325-5777

受付時間 : 平日10:00～16:30(土日祝日は除く)

ホームページ : <http://www.takaratomy.co.jp/event/>

(※3)「輪島工房長屋」とは？



石川県輪島市にある、漆器の木地づくりから塗り、加飾の各工房が集まった交流施設です。漆に関する情報発信のほか、異業種交流による新たな商品開発も積極的に行うなど、漆の魅力をより広く知っていただくため、さまざまな取り組みを行っています。

「輪島工房長屋 管理運営まちづくり輪島」

石川県輪島市河井町4-66-1